

3. まつげパーマ(モデル) Code no.9-8(3)

所持品：モデル、パーマの材料、撮影装備（動画撮影時に本人の顔も一部出てくるが、ほとんどはモデルの目を近くで近接撮影することを原則とする）

1. 動画撮影編集（5分）

*事前準備撮影1分＞約25%時、1分＞約50%時、1分＞約75%時、1分＞100%時、1分や選手の顔が見える動画を5分以内に編集する。

2. 写真(6枚)

トーナメントホームページフォームを参照（A4）

コンプライアンス：写真ソース_ファイルjpg

解像度200dpi

（スマートフォンカメラ800万画素以上）

1. 始める前に簡単にモデル紹介（（例）40代女性、とてもアクティブな女性、まつげが勝手に曲がり、目がポイントになるようにC型のアクティブカーリング演出で施術）
2. 材料設定写真 - 開始する前に材料の底に朱色のきれいなタオルを敷き、その上にすべての材料が入っているTRAY内に衛生的に整理した後、写真撮影して提出様式に入れます。
3. 始める前に、正面からモデルが目を閉じた写真を置きます。
4. 始める前に、正面からモデルが目を開いた写真を置きます。
5. 完成後、モデルの左側から撮影した目の写真を入れます。
6. 完成後、モデルの右側から撮影した目の写真を入れます。
7. 完成後、モデルの正面から目を閉じた写真を入れます。
8. 完成後、モデルは正面から目を開いた写真を置きます。

審査規則：

-モデルはまつげファームになってはいけないし、人工眉毛などをつけないモデルでなければならない。

-瞳とまつげに似合うカールと両対称を組み合わせて完成度の高いカルファームを作る。

①衛生

-まつげパーマをするためのすべての材料をトレイ&バスケットにきれいに整理しておく。

②まつげパーマのカール状態

- 右、左のカルアップ状態を確認する。

- 前面のカルアップ状態を確認します。

③形状設計

- カルアップの右左の外観を確認します。

- 両眼のバランスと調和を確認する。

④技術(=専門性、熟練度)

- まつ毛パーマの1葉子と2剤の適切な処理方法を確認する。

- 全体的なまつげパーマの過程が正しく進行されたことを確認する。

<審査ポイント参考>

-カールの角度が正しく維持されたか。

-カールが均一な方向性を向いているか。

- ファーム剤が埋まっているか目に影響を与えたジチェック。

-施術前後の差がどれくらいあるか。

-まつげ根の軟化点検、まつげの整理がしっかりしているか確認。